



生活とお金に関するアンケート

2024年2月6日

挑む。超える。ともに創る。

 プロクレアホールディングス



目次

1

物価上昇に関する家計への影響について

2

お金の使い道について

3

決済サービスなどの利用について

4

資産運用について

調査の概要

調査目的

2023年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、コロナ前の日常生活が戻ってきました。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに、円安や物価上昇が急速に進んだ1年でもありました。

このような中、青森県民が物価上昇による生活環境の変化をどのように感じているのか、お金の使い方についてどのような意識を持っているのか、これらを掘り下げていくことを目的にアンケートを実施しました。

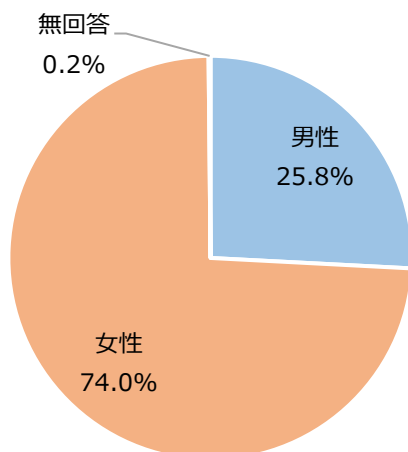
併せて、近年普及が進んでいるキャッシュレス決済サービスやサブスクリプションサービスなどの利用状況についてもお知らせします。

調査対象 … 青森県内に居住の個人 1,270名

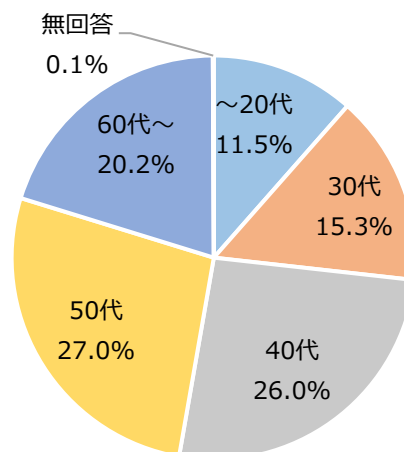
- 調査方法 … 無記名による回答選択方式および自由記述方式
- 調査時期 … 2023年12月初旬 ～ 12月下旬（毎年1回）
- 回収率 … 1,270名（100%）

回答者の属性

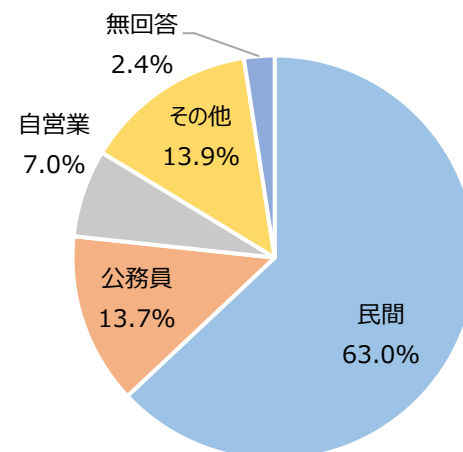
【性別】



【年代別】



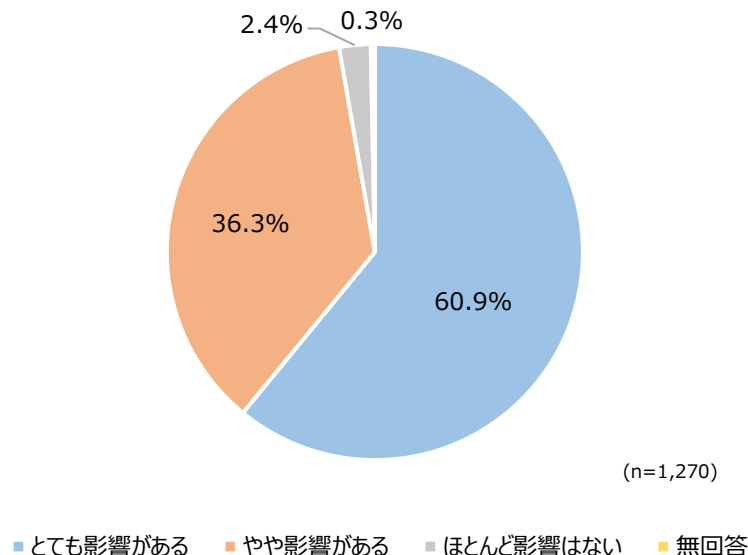
【職業別】



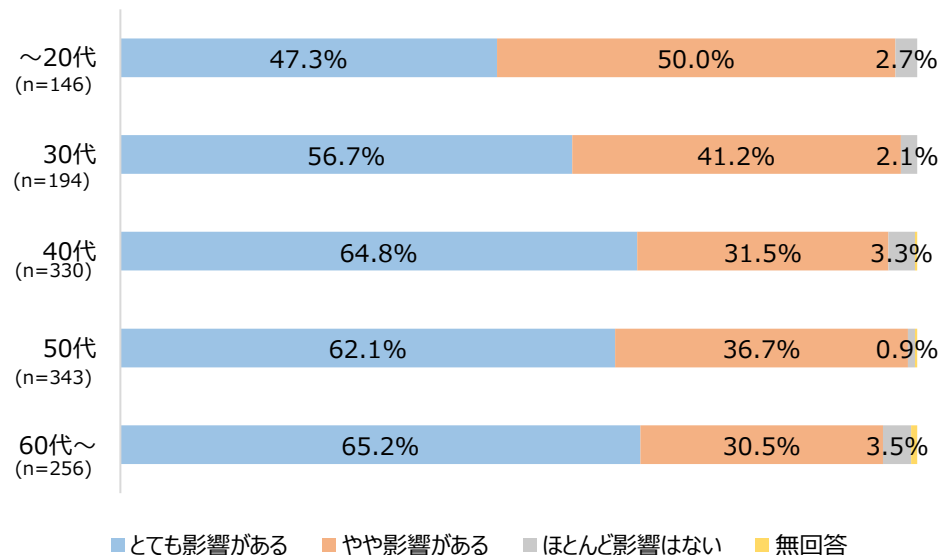
1. 物価上昇に関する家計への影響について

1-1. 物価上昇による家計への影響についてお聞かせください。

《全体》



《年代別》



物価上昇による家計への影響は大きい

【全 体】

物価上昇による家計へ影響について尋ねたところ、「とても影響がある」（60.9％）が最も多く、次いで「やや影響がある」（36.3％）となった。この2つの合計は97.2％となり、大多数の人が物価上昇の影響を受けている様子がうかがえた。

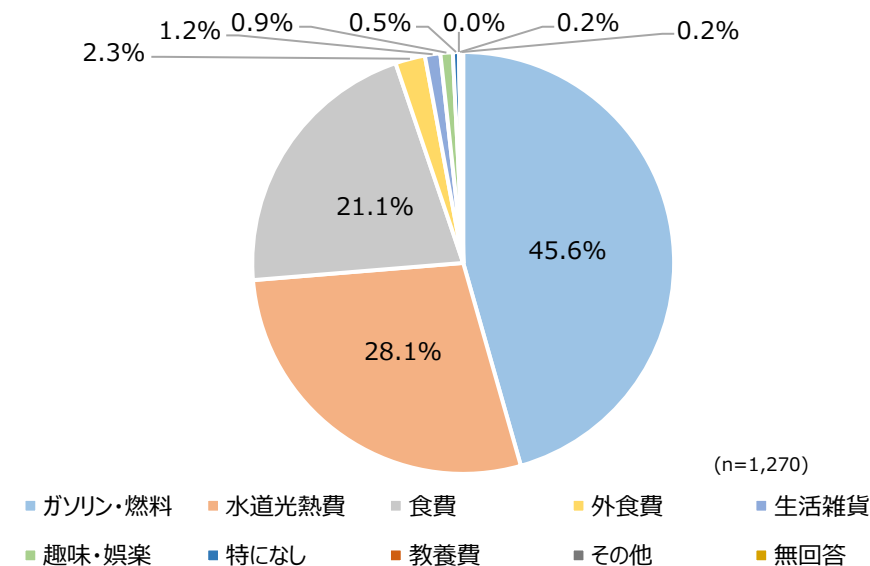
【年代別】

60代以上で「とても影響がある」（65.2％）と回答した割合が最も高く、若年層ほど低くなった。年金や貯蓄を取り崩しながら生活する人が多い高齢層では、影響が大きかったものと考えられる。

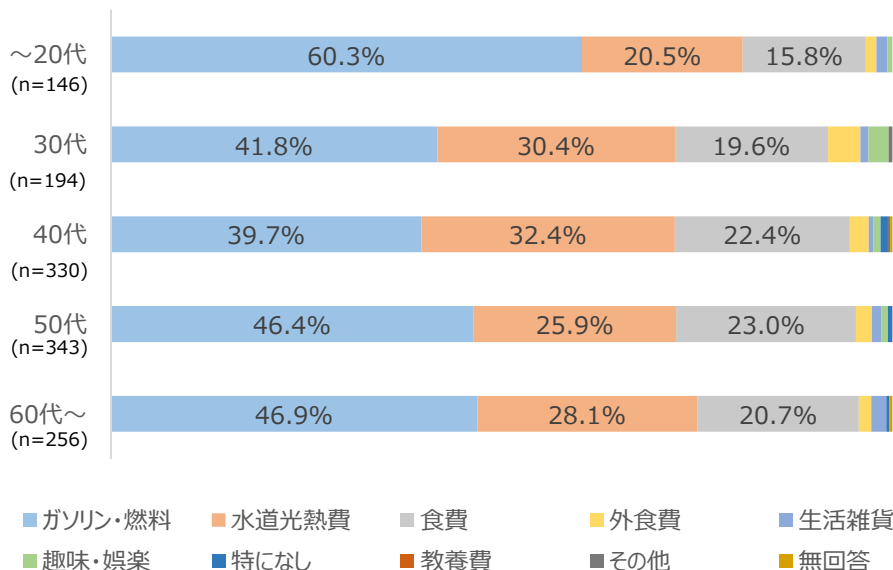
1. 物価上昇に関する家計への影響について

1-2. 物価上昇を理由に最も増えたと感じる支出は何ですか？

《全体》



《年代別》



エネルギー関連、食費への影響が大きい

【全 体】

物価上昇により、最も増えた支出を尋ねたところ、「ガソリン・燃料」（45.6%）が最多で、「水道光熱費」（28.1%）、「食費」（21.1%）が続いており、生活に必要不可欠な費目が大半を占めた。ガソリンについては政府による元売り業者への補助が段階的に引き下げられたことで実質的な値上げとなっており、水道光熱費や食費についても値上げが相次いでいたため、影響が強く表れたとみられる。

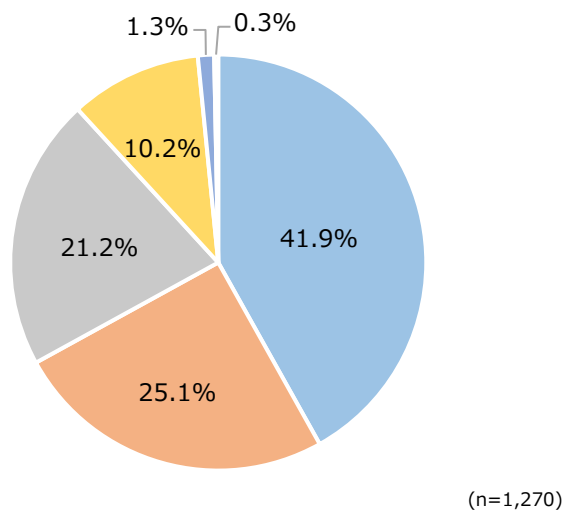
【年代別】

20代で「ガソリン・燃料」（60.3%）の回答割合が最も高く、子育て世代である30代～50代では「水道光熱費」「食費」の割合が高くなっているが、費目については世代間で大きな違いは見られなかった。

1. 物価上昇に関する家計への影響について

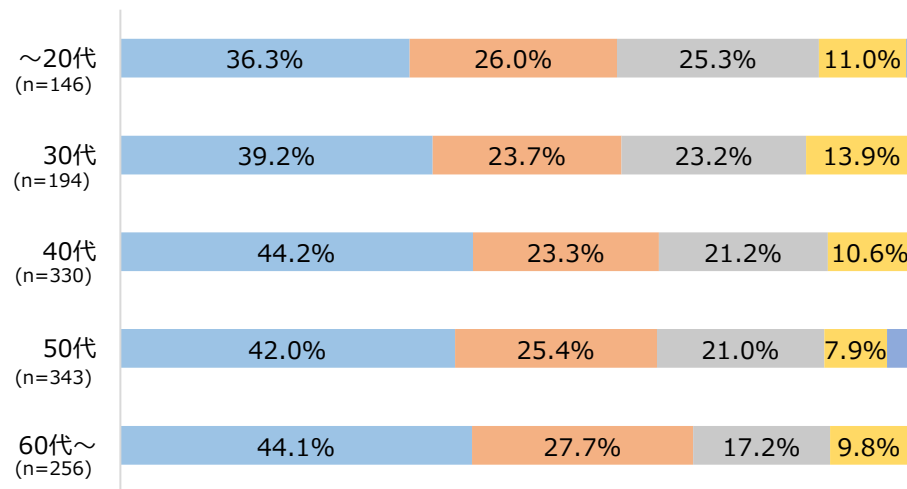
1-3. 物価上昇を理由に最も減った（減らした）支出は何ですか？

《全体》



■ 外食費・交際費 ■ 特になし ■ 趣味・娯楽 ■ 嗜好品 ■ その他 ■ 無回答

《年代別》



■ 外食費・交際費 ■ 特になし ■ 趣味・娯楽 ■ 嗜好品 ■ その他 ■ 無回答

外食費・交際費からの節約が主流

【全 体】

物価上昇により、最も減らした支出を尋ねたところ、「外食費・交際費」（41.9%）が最も多かった。自宅での食事に切り替えるなど、調整のしやすさが一因と考えられる。一方で、「特になし」（25.1%）が次点となっており、4人に1人は従前の生活習慣を維持している結果となった。

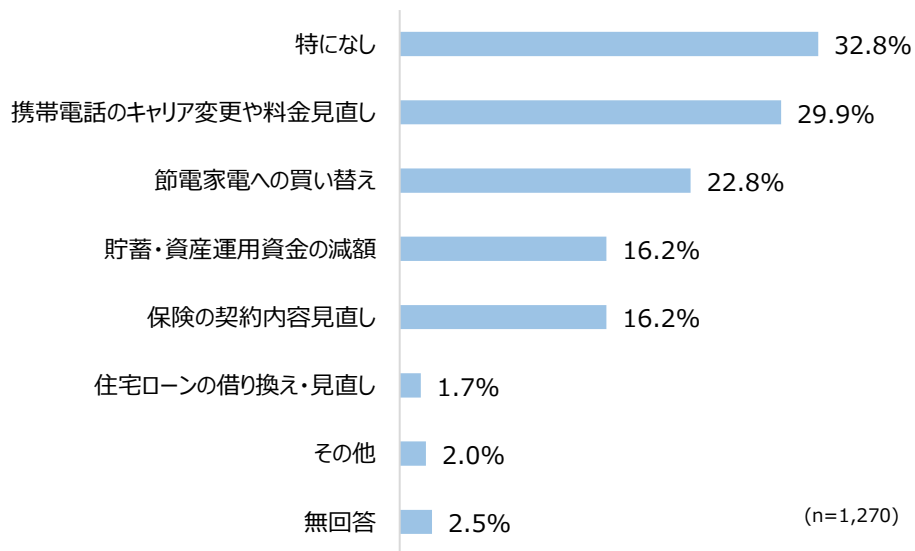
【年代別】

若年層ほど「外食費・交際費」の回答割合が低く、「趣味・娯楽」の割合がやや高くなったが、世代間で大きな違いはなかった。

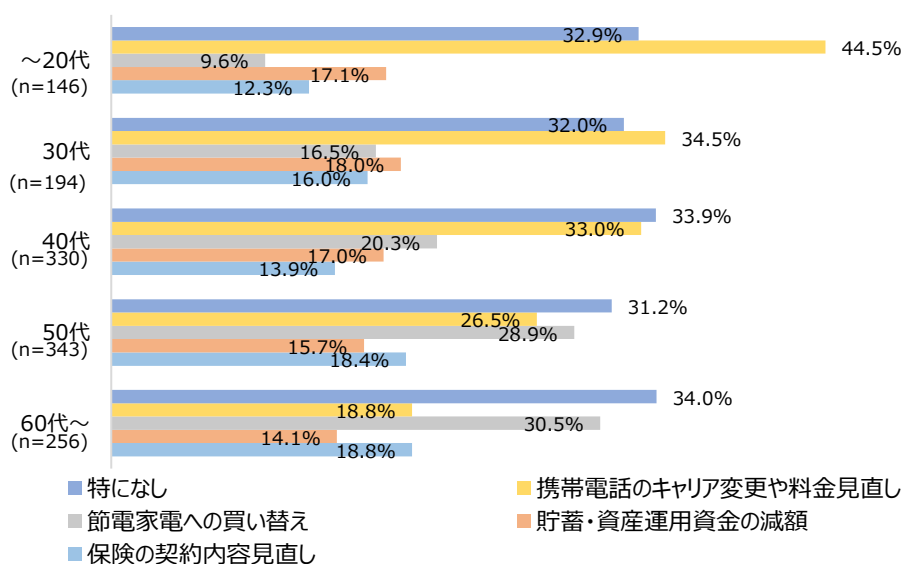
1. 物価上昇に関する家計への影響について

1-4. 物価上昇をきっかけに家計の固定費について見直したもの、今後見直す予定のものはありますか？ (複数回答)

《全体》



《年代別》



固定費では携帯電話料金が重荷に

【全 体】

物価上昇をきっかけに見直した固定費を尋ねたところ、「特になし」（32.8%）が最も多く、次いで「携帯電話のキャリア変更や料金見直し」（29.9%）となった。固定費の見直しには労力がかかるため、特に行動を起こさない層が一定数いたとみられる。一方で、携帯電話については、格安料金プランなども増えてきており、インターネット上で手続きを完了できる点も見直しをしやすい費目だったと考えられる。

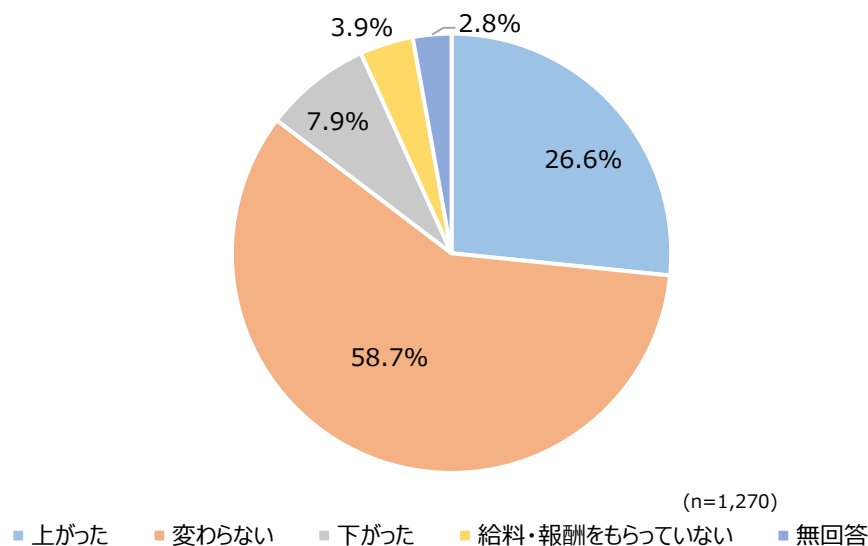
【年代別】

20代以下で「携帯電話のキャリア変更や料金見直し」（44.5%）と回答した割合が顕著に高かった。年齢層が上がるほど、「節電家電への買い替え」の割合が高くなっており、光熱費の削減を意識していることがわかった。

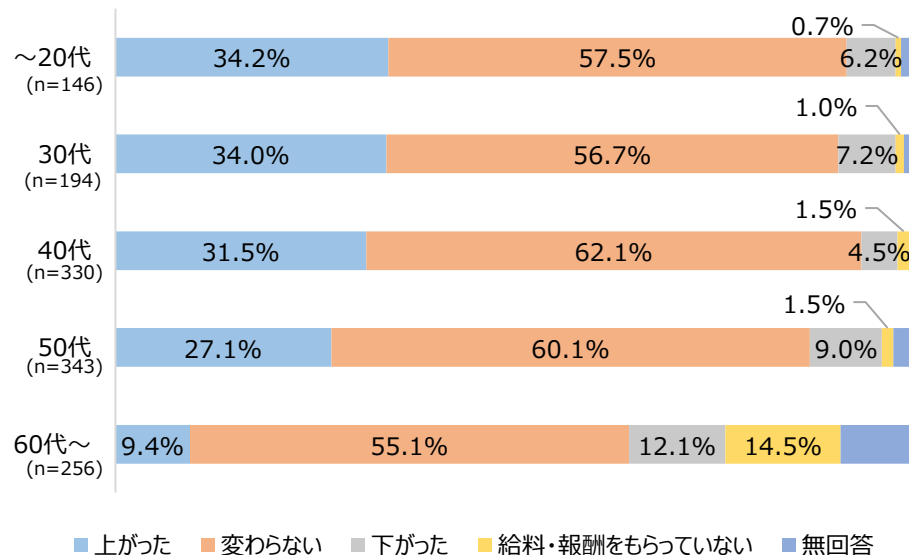
1. 物価上昇に関する家計への影響について

1-5. 直近1年間で給料・報酬は上がりましたか？

《全体》



《年代別》



給料・報酬は増加の動き

【全 体】

直近の給料・報酬の増減について尋ねたところ、全体では「変わらない」（58.7%）が最も多く、「上がった」（26.6%）が続いた。2023年に県内企業を対象に行った賃上げ意向に関するアンケート調査では、約7割が賃上げを実施予定となっていたが、実際の動向とはやや乖離している様子が見受けられた。

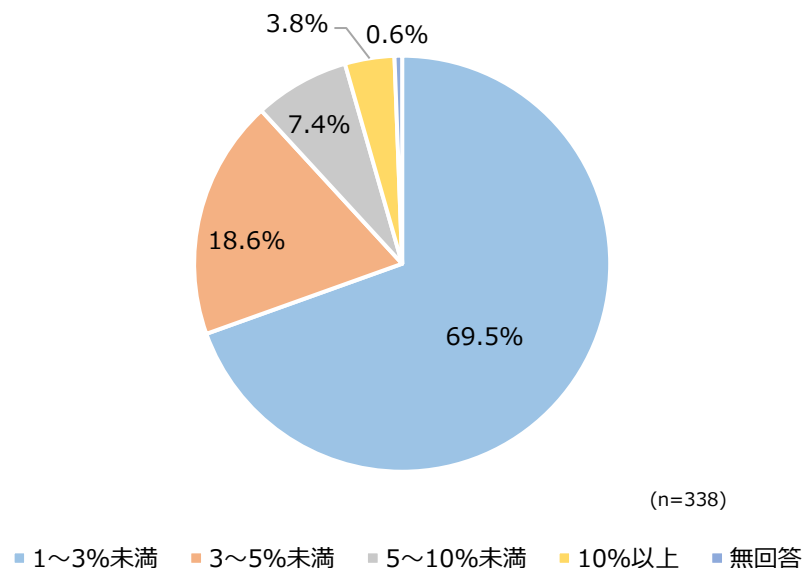
【年代別】

若年層ほど「上がった」の回答割合が高く、給料・報酬が増加傾向にあるものの、全世代を通して「変わらない」が5割超となっており、給料・報酬引き上げの動きは鈍い。

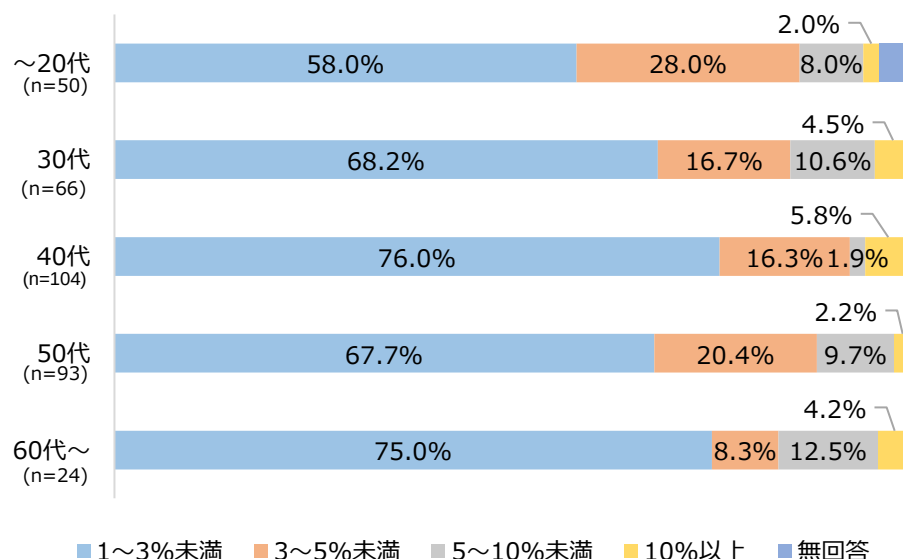
1. 物価上昇に関する家計への影響について

1-6. 「上がった」と回答した方はどのくらいあがりましたか？

《全体》



《年代別》



給料・報酬の上昇率は1~3%未満が主流

【全 体】

質問 1 - 5 で給料・報酬が「上がった」（26.6%）と回答した人に、給料・報酬の上昇率を尋ねたところ、全体では「1~3%未満」（69.5%）と回答した人が最も高い割合となった。

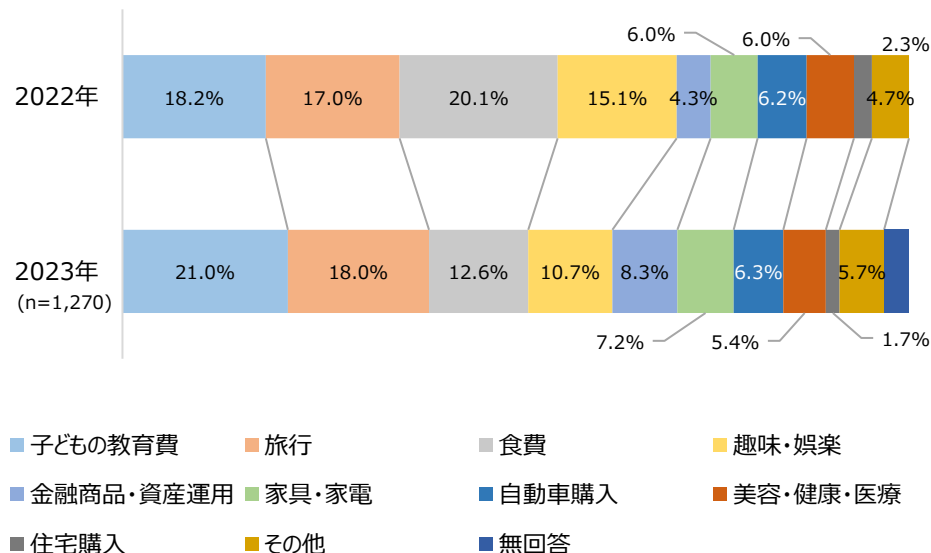
【年代別】

全世代で「1~3%未満」が主流となっている一方、20代以下、30代、50代では3%以上の回答も多かった。

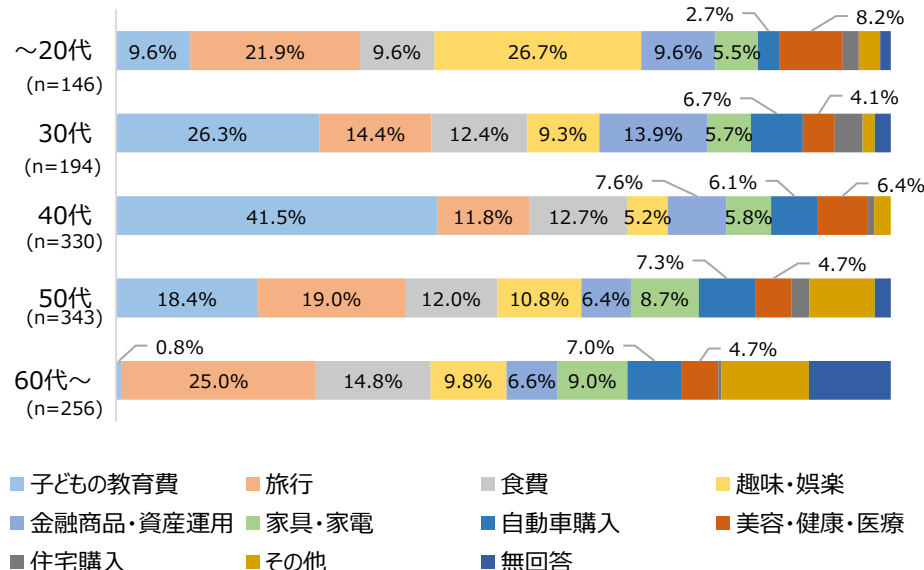
2. お金の使い道について

2. 2024年に特にお金を使おうと考えているものは何ですか？

《全体》



《年代別》



子どもの教育費がトップに

【全 体】

2024年に何にお金を使う予定か尋ねたところ、「子どもの教育費」(21.0%)が最も高い割合となった。次いで、「旅行」(18.0%)、「食費」(12.6%)となった。前年にトップだった「食費」(前年20.1%)は減少し、「子どもの教育費」(前年18.2%)は増加した。

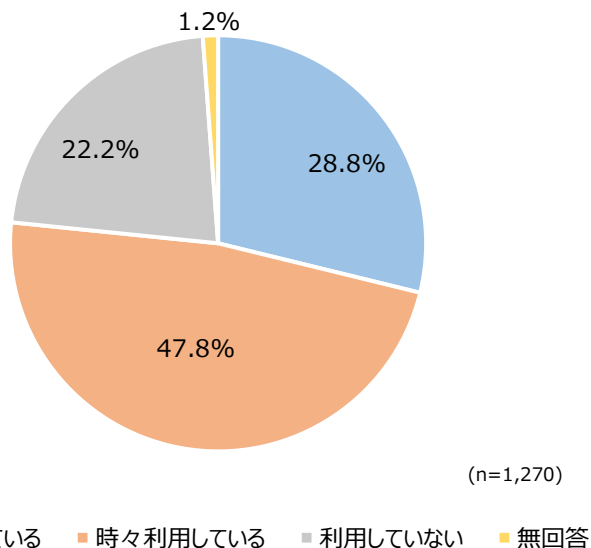
【年代別】

子育て世代の40代で「子どもの教育費」(41.5%)が最も多かった。子育て前の20代以下では「趣味・娯楽」(26.7%)、子育て卒業後の60代以上では「旅行」(25.0%)の回答が多く、世代間で使い道に違いがみられる結果となった。

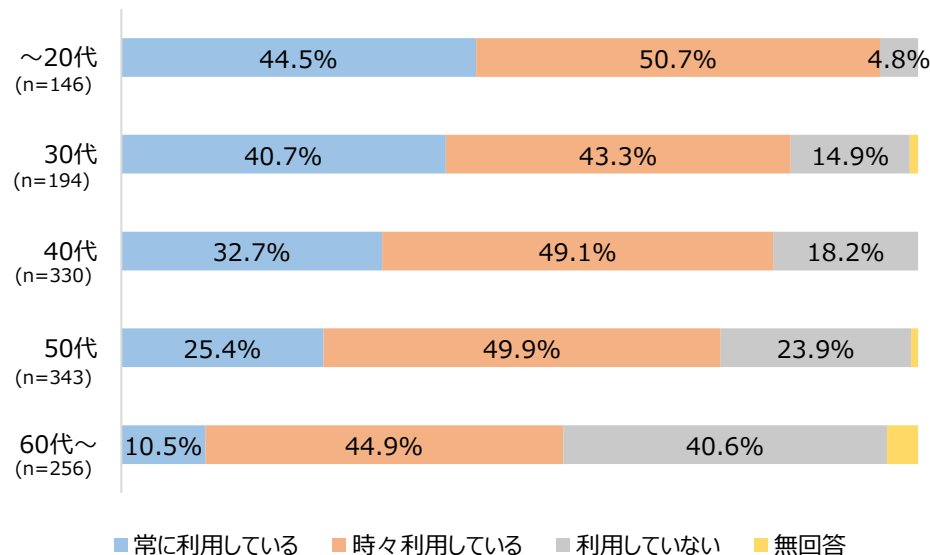
3. 決済サービスなどの利用について

3-1. キャッシュレス決済（現金以外の決済方法）を利用していますか？

《全体》



《年代別》



若年層ほどキャッシュレス決済を利用

【全 体】

キャッシュレス決済の利用状況を尋ねたところ、「時々利用している」（47.8%）と回答した人の割合が最も高く、次点には「常に利用している」（28.8%）が続いた。約8割がキャッシュレス決済を利用していることがわかった。

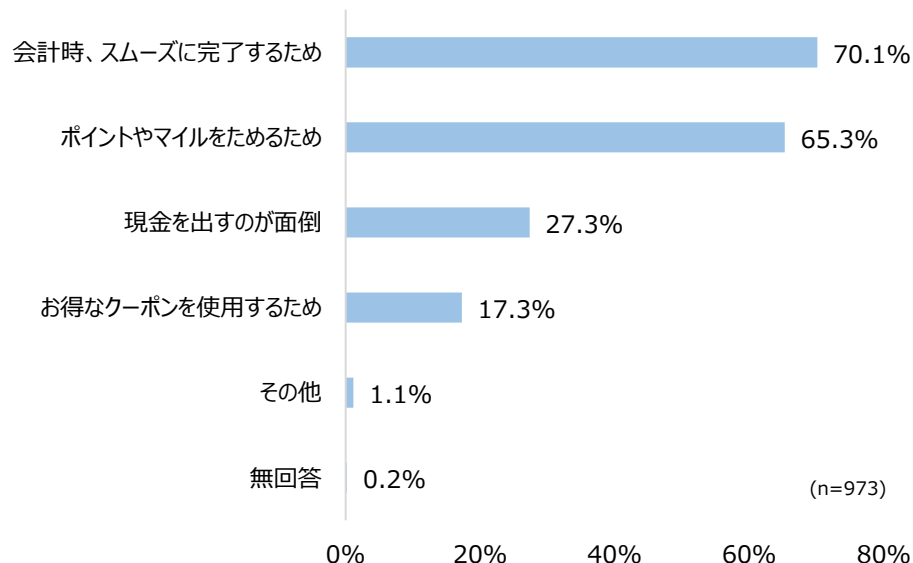
【年代別】

若年層ほど「常に利用している」の回答が多く、日常的にキャッシュレス決済を利用していることがわかった。また、60代以上を含めたすべての世代で、半数以上の人がキャッシュレス決済の利用経験があり、世代を問わずキャッシュレス決済が定着していると考えられる。

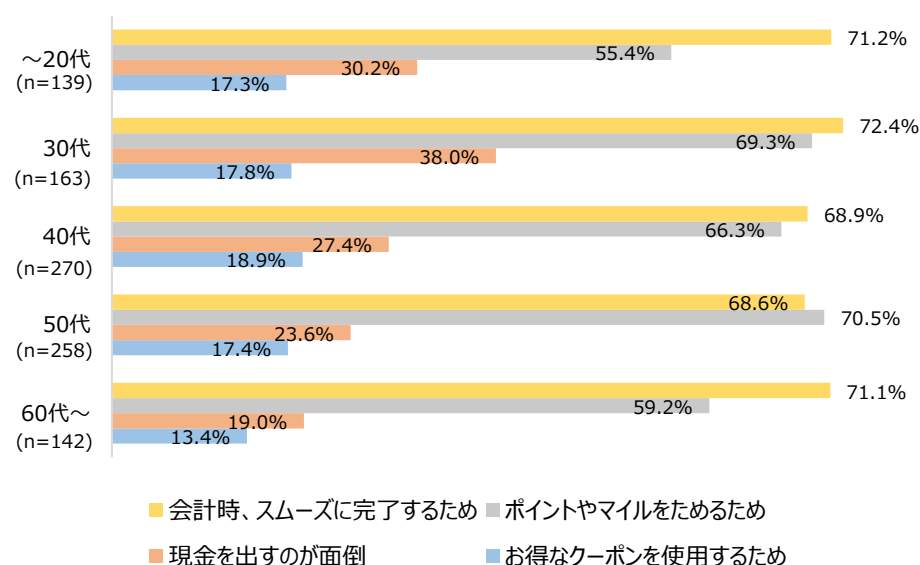
3. 決済サービスなどの利用について

3-2. 「キャッシュレス決済を利用している」と回答した方は利用する理由は何ですか？（複数回答）

《全体》



《年代別》



会計のスムーズさを重要視

【全 体】

質問 3 - 1 でキャッシュレス決済を「常に利用している」「時々利用している」と回答した人（計76.6%）に、キャッシュレス決済を利用する理由を尋ねたところ、「会計時、スムーズに完了するため」（70.1%）と「ポイントやマイルをためるため」（65.3%）の回答が突出して多かった。会計のスムーズさやポイントサービスは、キャッシュレス決済ならではの利点であり、重要な要素になっていると考えられる。

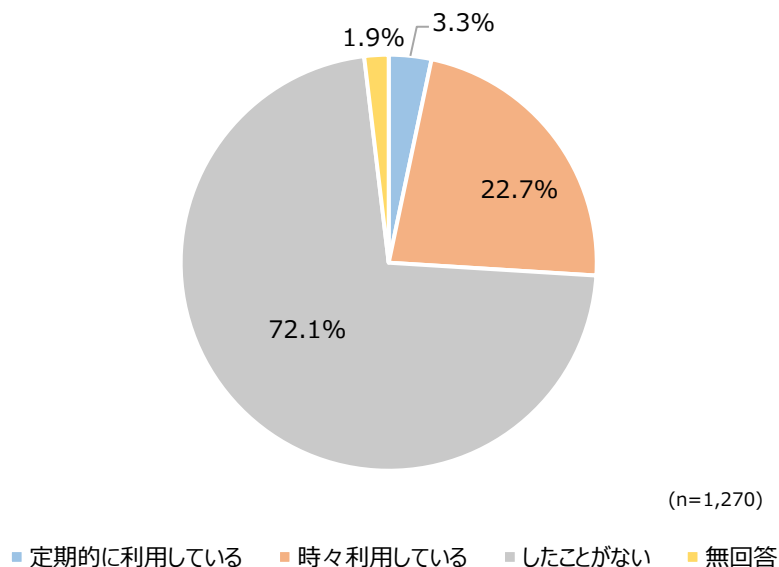
【年代別】

「会計時、スムーズに完了するため」は全世代で回答が多かった。「ポイントやマイルをためるため」については、30代～50代の子育て世代で回答割合が高く、ポイントサービスを重視する傾向が見受けられた。

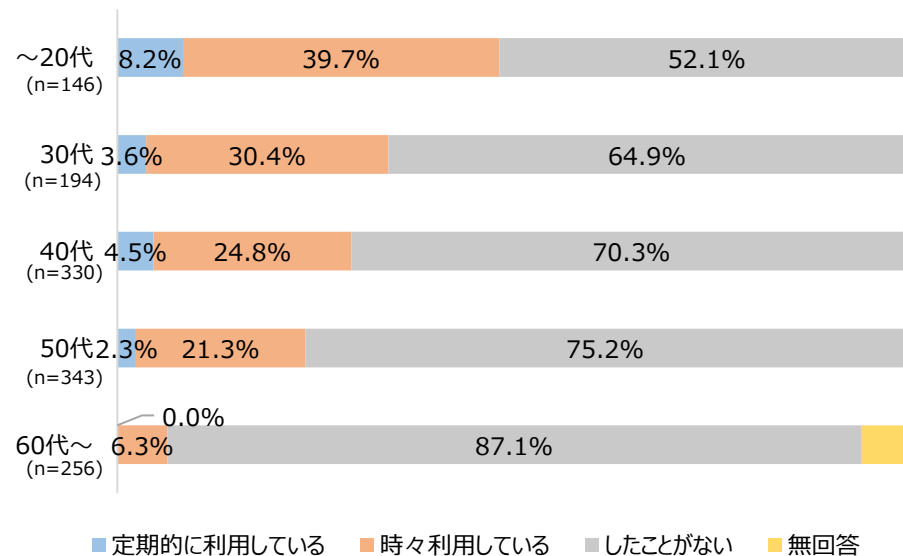
3. 決済サービスなどの利用について

3-3. スマホで個人間送金をしたことがありますか？

《全体》



《年代別》



個人間送金は若年層が中心

【全 体】

スマホでの個人間送金について尋ねたところ、「したことがない」（72.1%）と回答した人の割合が最も高かった。

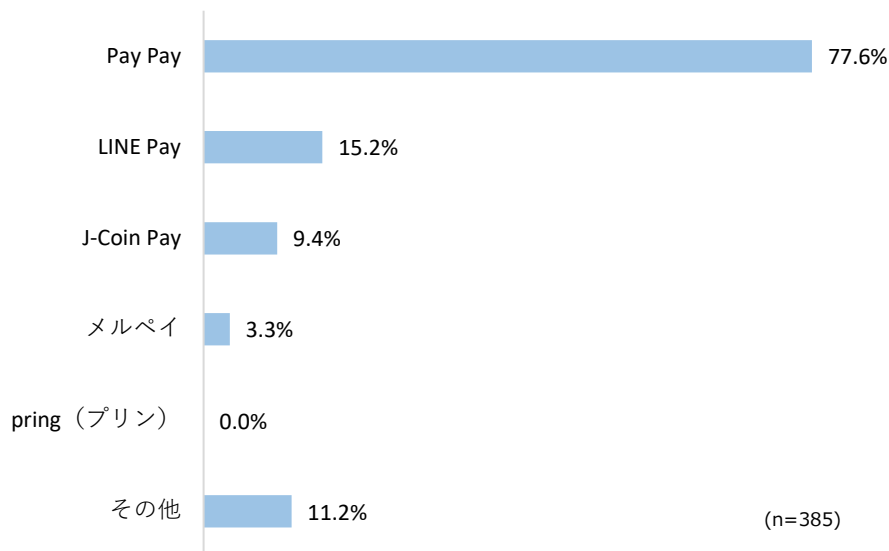
【年代別】

20代以下で半数程度が利用経験があるものの、年齢層が上がるほど利用率は低くなっており、スマホでの個人間送金はあまり普及が進んでいないという結果となった。

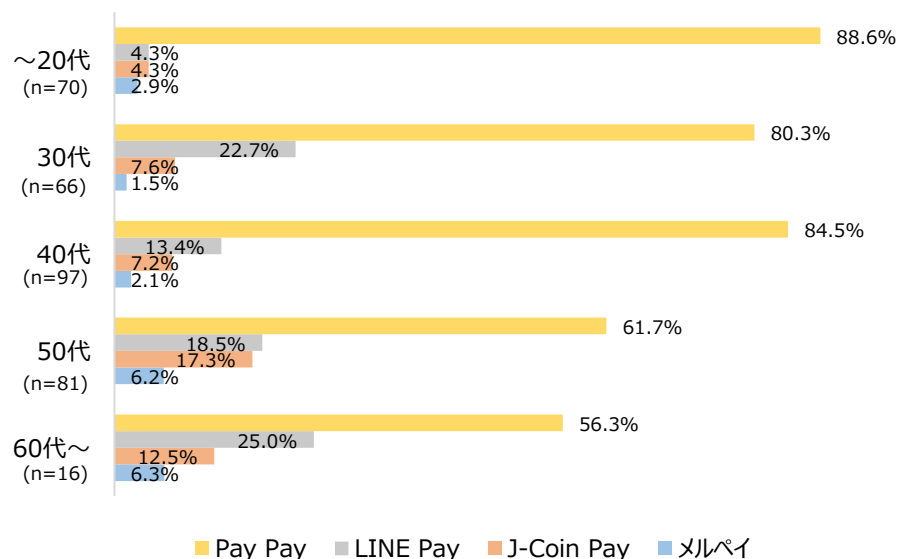
3. 決済サービスなどの利用について

3-4. 「スマホで送金をしている」と回答した方は送金に使うアプリは何ですか？（複数回答）

《全体》



《年代別》



個人間送金はPay Payが最も普及

【全 体】

質問 3 - 3 でスマホでの個人送金を「定期的に利用している」「時々利用している」と回答した人（計26.0%）に、送金に使うアプリを尋ねたところ、「Pay Pay」（77.6%）の回答割合が突出して高かった。QRコードを活用したキャッシュレス決済として多くの店で利用可能であり、個人間送金のしやすさからも利用者が多かったものと推察される。

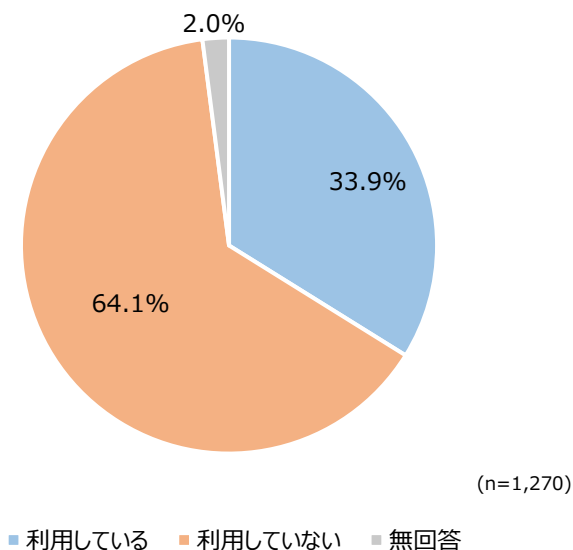
【年代別】

いずれの世代においても「Pay Pay」の利用率が最も高かった。

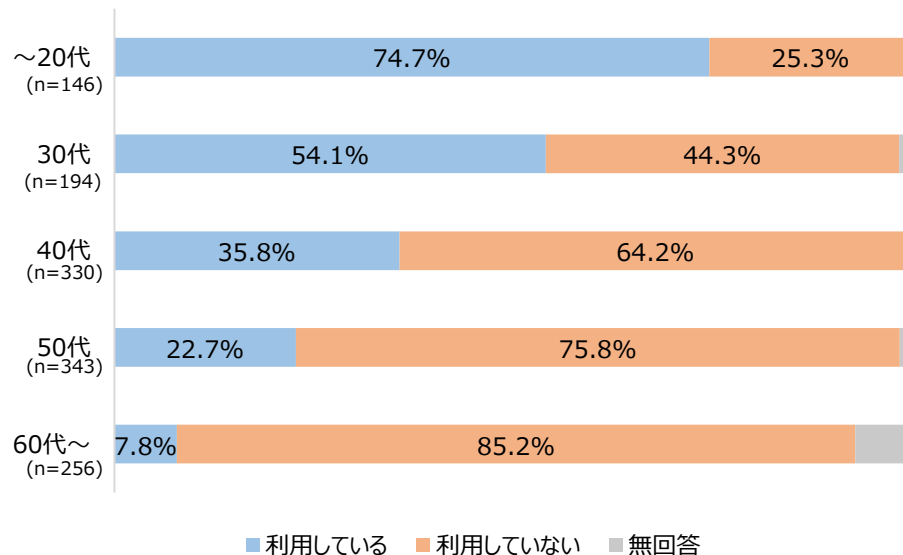
3. 決済サービスなどの利用について

3-5. サブスクリプション（サブスク：定額制サービス）を利用していますか？

《全体》



《年代別》



サブスクは若年層での利用が活発

【全 体】

サブスクリプションサービスの利用状況について尋ねたところ、全体の33.9%が「利用している」と回答した。

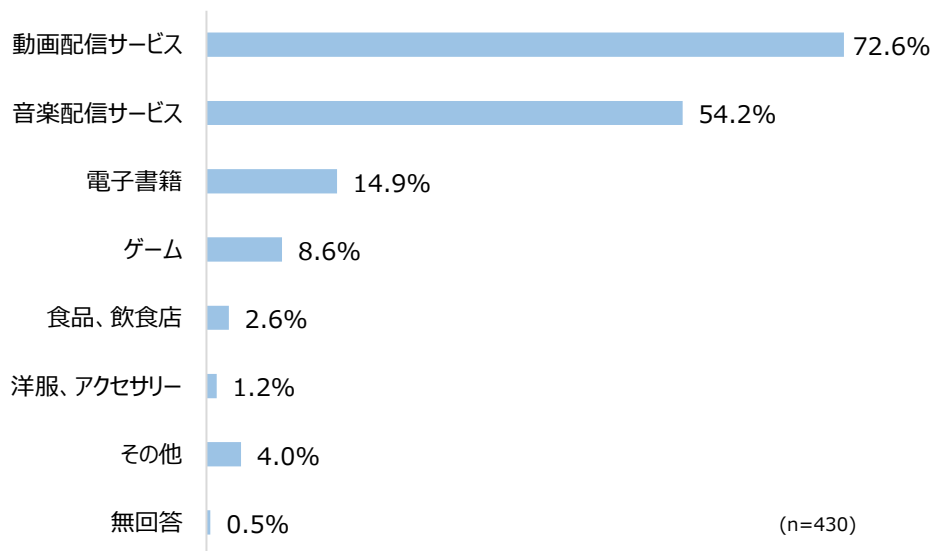
【年代別】

20代以下では7割超、30代でも5割超が利用しており、若年層を中心に、今後ますます普及が進んでいくと予想される。

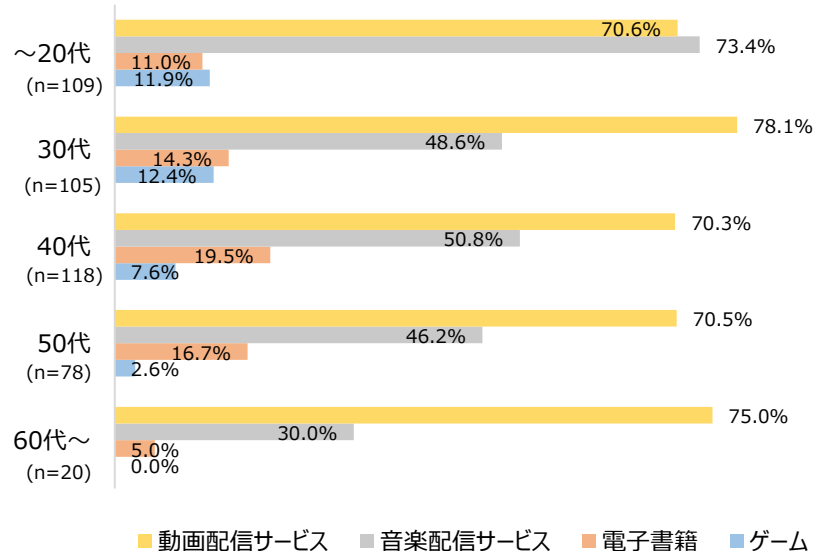
3. 決済サービスなどの利用について

3-6. 「サブスクを利用している」と回答した方は何のサービスを利用していますか？（複数回答）

《全体》



《年代別》



全世代で動画配信サービスが人気

【全 体】

質問 3 - 5 でサブスクリプションサービスを「利用している」（33.9%）と回答した人に利用しているサービスについて尋ねたところ、「動画配信サービス」（72.6%）が最も多く、次いで「音楽配信サービス」（54.2%）となった。

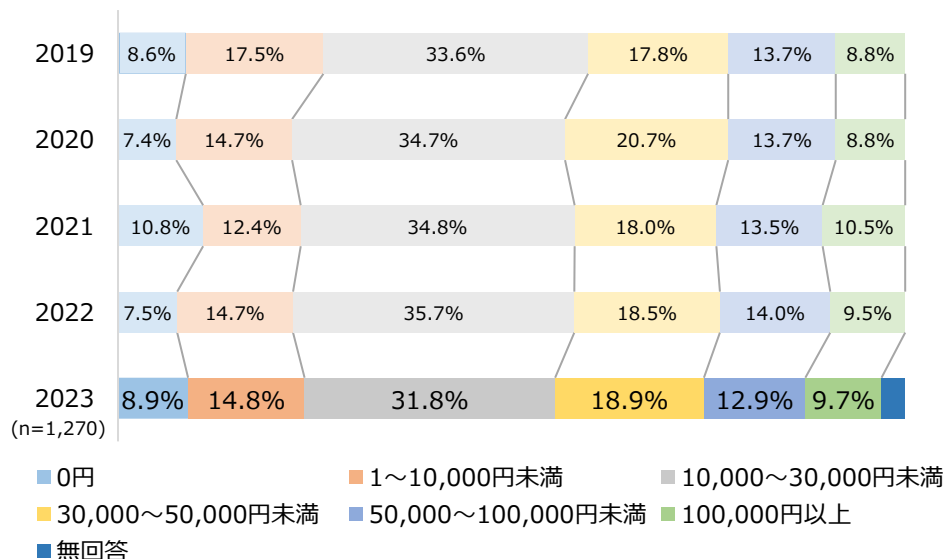
【年代別】

いずれの世代でも「動画配信サービス」の回答割合が高かった。20代以下については、他の世代に比べて「音楽配信サービス」（73.4%）が突出して高かった。

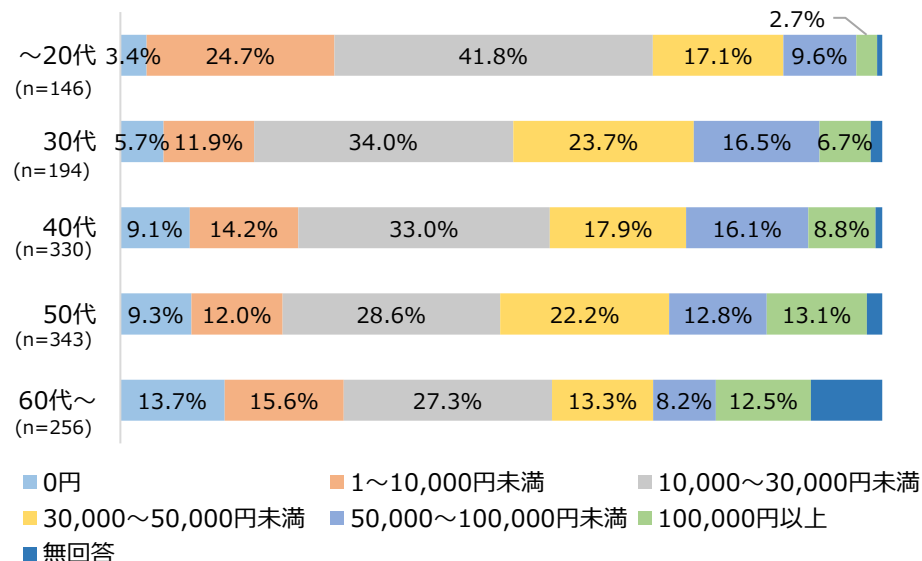
4. 資産運用について

4-1. 2023年の月間平均貯蓄額はおよそいくらでしたか？

《全体》 2019～2023年



《年代別》 2023年



月額平均貯蓄額は「1万～3万円未満」が最多

【全 体】

月額平均貯蓄額について尋ねたところ、前年に比べて3.9ポイント低下したものの、「1万～3万円未満」（31.8%）と回答した人の割合が最も高かった。従前から「1万～3万円未満」が最多回答となっており、トレンドに大きな変化はみられなかった。

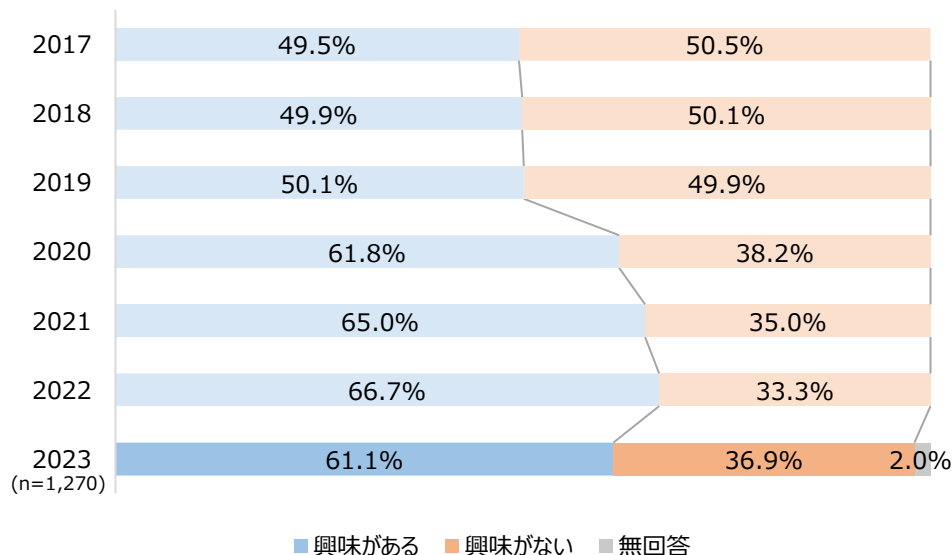
【年代別】

20代以下で「1万～3万円未満」（41.8%）及び「1～1万円未満」（24.7%）が多く、「0円」（3.4%）が少なかった。20代以下は他の年代に比べて給与・報酬額が少ない場合が多いものの、将来に備えて少しずつ貯蓄を始めようと意識している様子が見えらる。

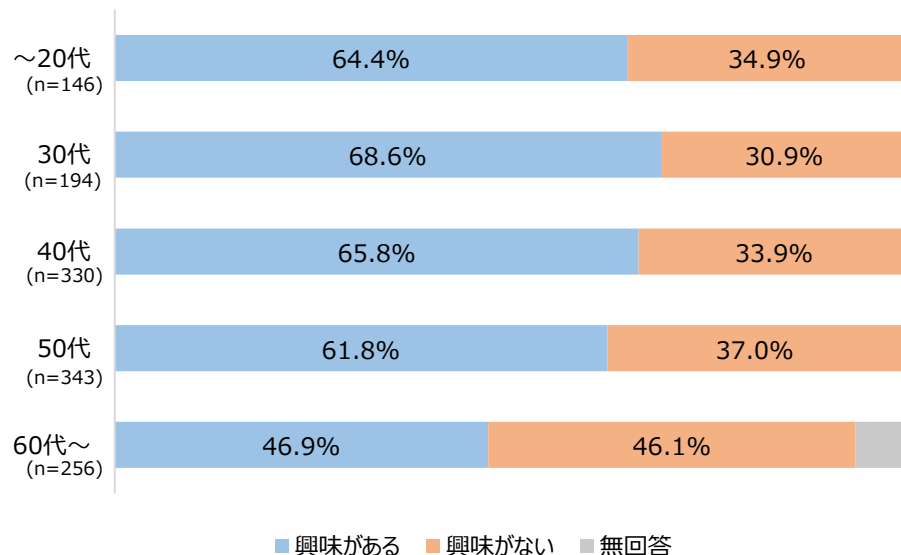
4. 資産運用について

4-2. 資産運用に興味はありますか？

《全体》 2017～2023年



《年代別》 2023年



全体の6割超が資産運用に興味あり

【全 体】

資産運用への興味を尋ねたところ、全体の61.1%が「興味がある」と回答した。前年に比べて5.6ポイント低下したものの、依然として6割を上回る水準となっており、資産運用が一般的になっていることがわかった。

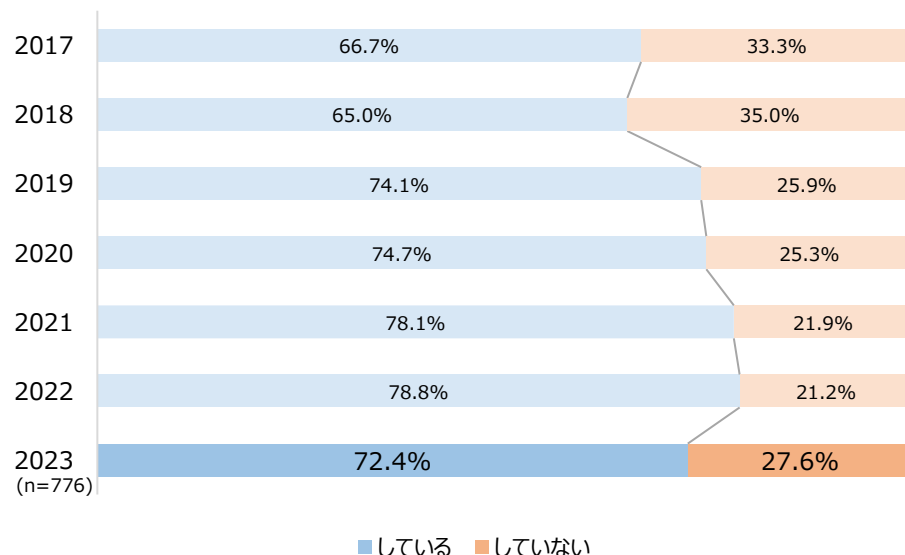
【年代別】

年代別では、60代以上で「興味がある」の回答割合が半数をやや下回ったものの、世代ごとに大きな違いはなく、多くの世代で資産運用に興味を持っているものと考えられる。

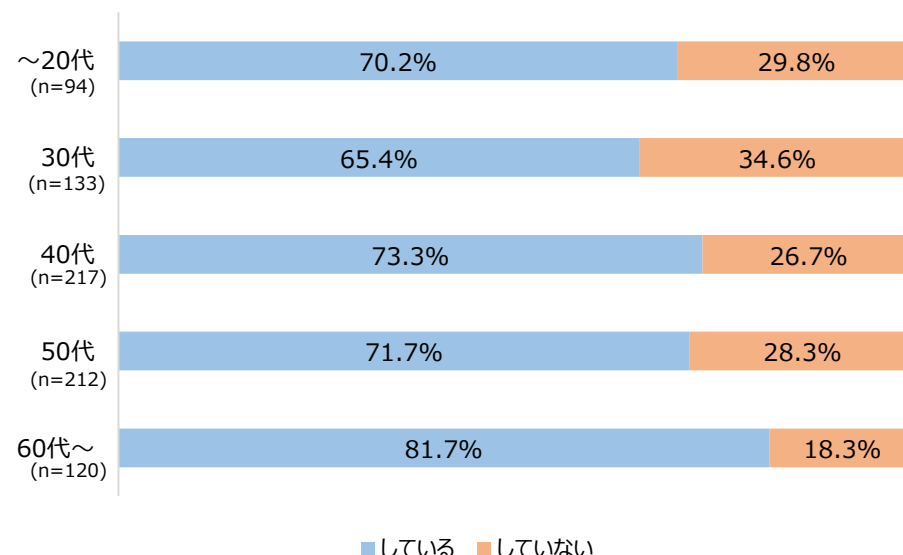
4. 資産運用について

4-3. 「資産運用に興味がある」と回答した方は、現在、資産運用はしていますか？

《全体》 2017～2023年



《年代別》 2023年



全体の7割超が資産運用中

【全 体】

質問4-2で資産運用に「興味がある」（61.1%）と回答した人に、現在の資産運用の状況を尋ねたところ、全体の72.4%が「資産運用をしている」と回答した。前年に比べて6.4ポイント低下しており、コロナ禍が収束したことで、消費が回復したことも一部影響したと考えられる。

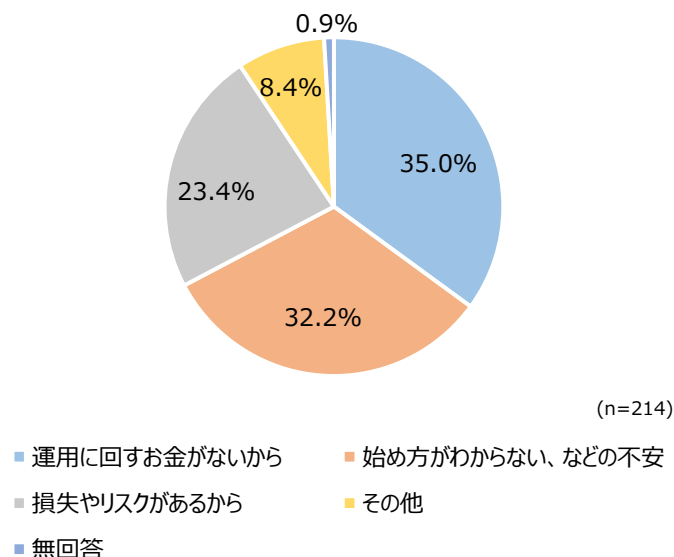
【年代別】

年代別では、60代以上で8割を超えており、資産運用への興味を実際の行動に移している人が多いことがわかった。

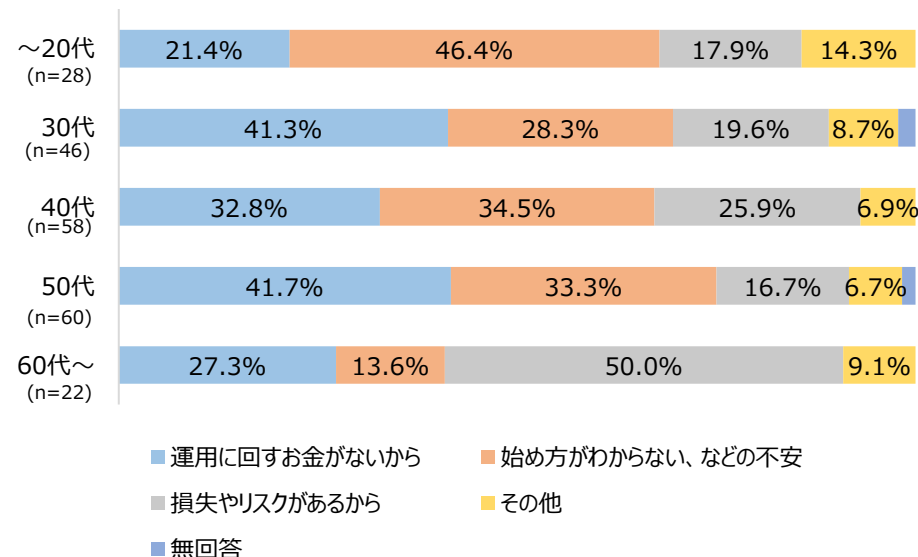
4. 資産運用について

4-4. 「現在、資産運用をしていない」と回答した方は、始めていない一番の理由を教えてください。

《全体》



《年代別》



資産運用をしない理由は「運用に回すお金がない」が最多

【全 体】

質問 4 - 3 で資産運用を「していない」（27.6%）と回答した人に、資産運用をしていない一番の理由を尋ねたところ、「運用に回すお金がないから」（35.0%）と回答した人の割合が最も高かった。

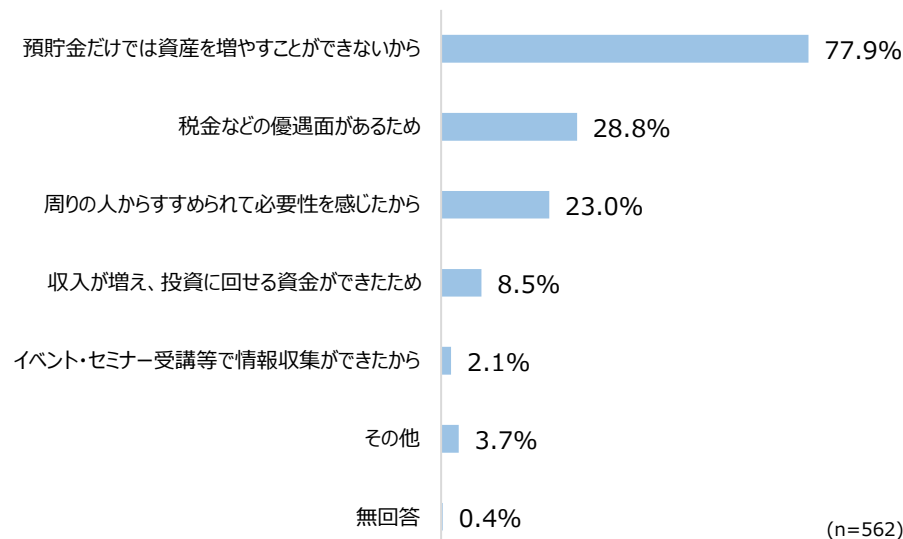
【年代別】

20代以下で「始め方がわからない、などの不安」（46.4%）、60代以上では「損失やリスクがあるから」（50.0%）が最も多くなっており、世代ごとに資産運用をしない理由に違いがみられた。

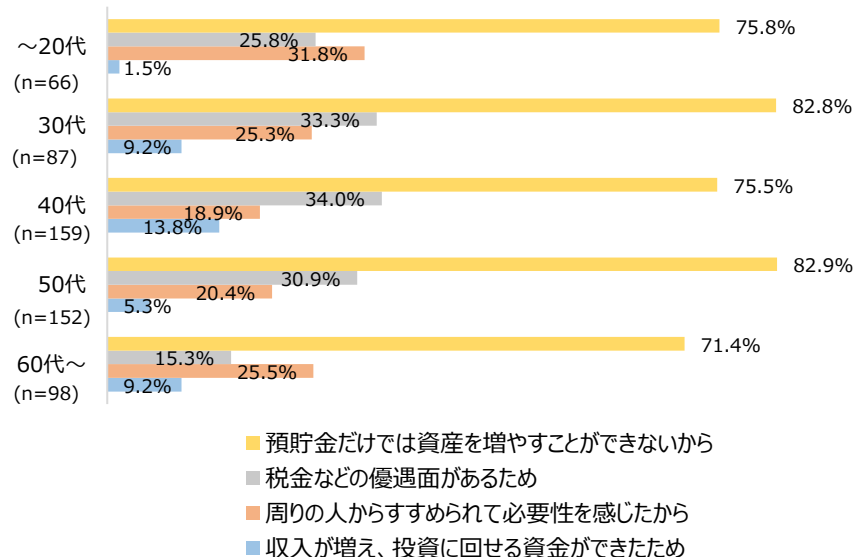
4. 資産運用について

4-5. 「現在、資産運用をしている」と回答した方は、始めた理由を教えてください。（複数回答）

《全体》



《年代別》



「預貯金だけでは資産を増やすことができない」が最多

【全 体】

質問4-3で資産運用を「している」（72.4%）と回答した人に、資産運用を始めたきっかけを尋ねたところ、「預貯金だけでは資産を増やすことができないから」（77.9%）が最多回答となった。預貯金の低金利は長らく続いており、将来に向けた資産形成のために運用を開始した人が多かった。

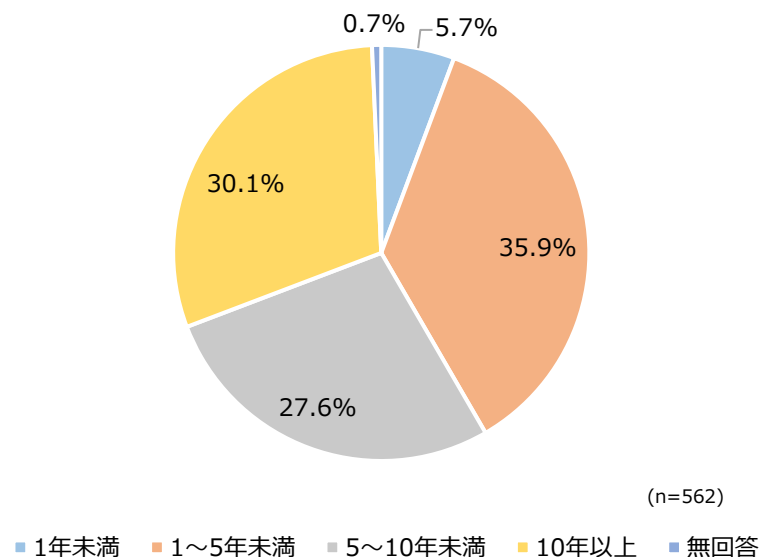
【年代別】

いずれの世代も「預貯金だけでは資産を増やすことができないから」の回答割合が顕著に高かった。

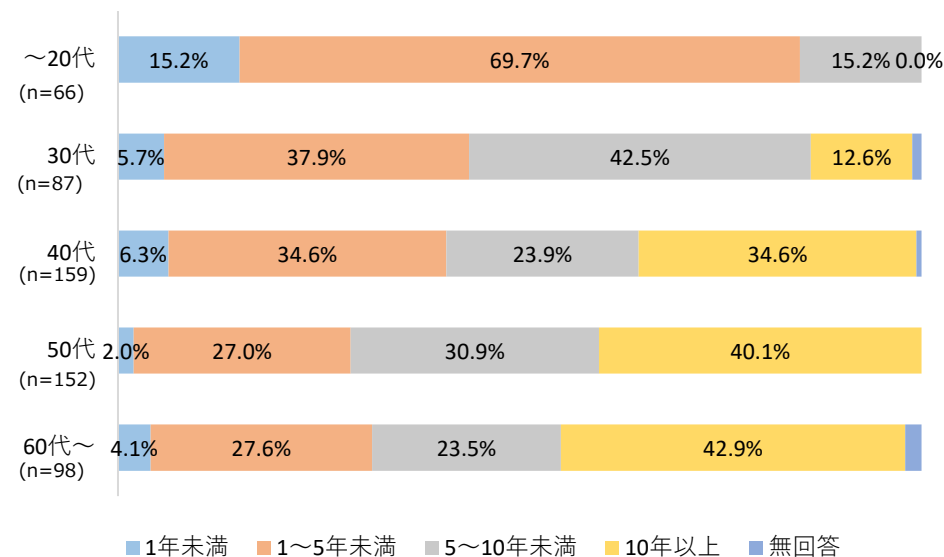
4. 資産運用について

4-6. 「現在、資産運用をしている」と回答した方は、資産運用を始めてから何年になりますか？

《年代別》



《全体》



「1～5年未満」が最も多い

【全 体】

質問4-3で資産運用を「している」（72.4%）と回答した人に、資産運用を始めて何年になるかを尋ねたところ、全体では「1～5年未満」（35.9%）が最も高い割合となった。

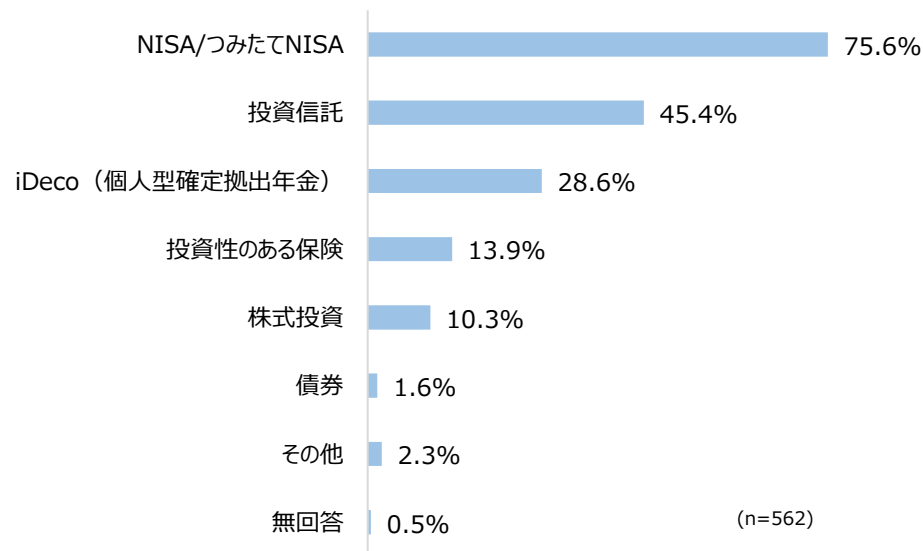
【年代別】

20代以下で「1～5年未満」（69.7%）が突出しており、社会人になって資産運用を始めた人が多いと考えられる。年齢層が上がるほど「10年以上」の回答割合が増えており、中長期的な資産運用が定着しつつある。

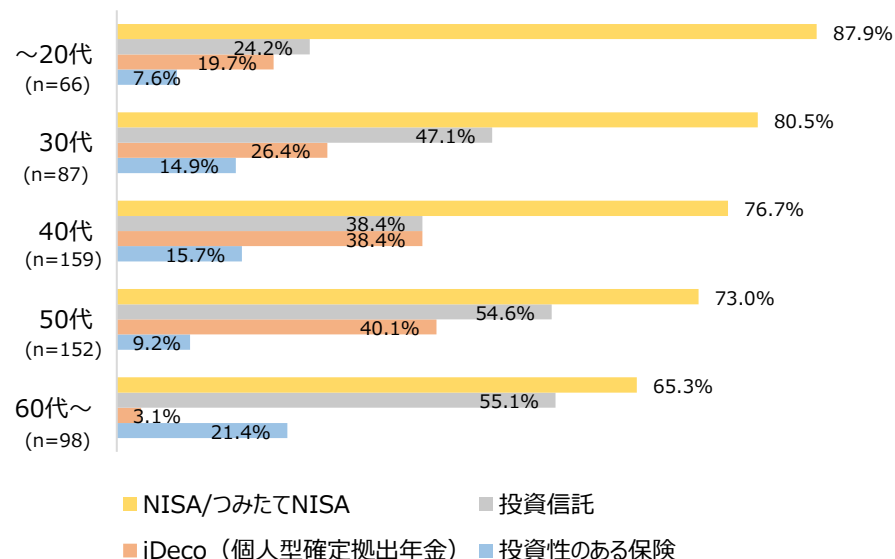
4. 資産運用について

4-7. 「現在、資産運用をしている」と回答した方は、どのような商品で資産運用をしていますか？（複数回答）

《全体》



《年代別》



NISAを活用した資産運用が中心に

【全 体】

質問4-3で資産運用を「している」（72.4%）と回答した人に、どのような商品で資産運用をしているかを尋ねたところ、「NISA/つみたてNISA」（75.6%）が最も多かった。次いで「投資信託」（45.4%）となっており、NISAの制度を活用し、投資信託で運用を行っている人が多いと考えられる。

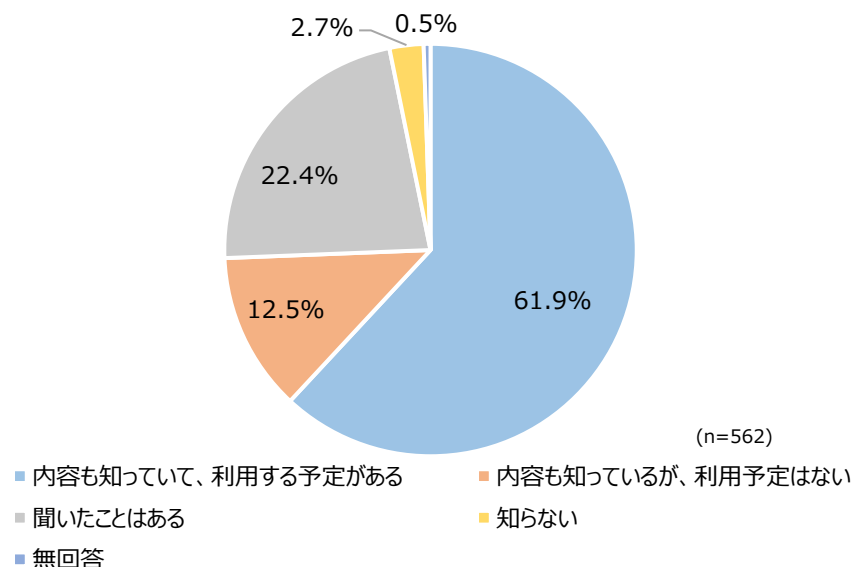
【年代別】

若年層ほど「NISA/つみたてNISA」の回答割合がやや高く、全世代でNISAの制度を活用した運用が主流となっていることがわかった。

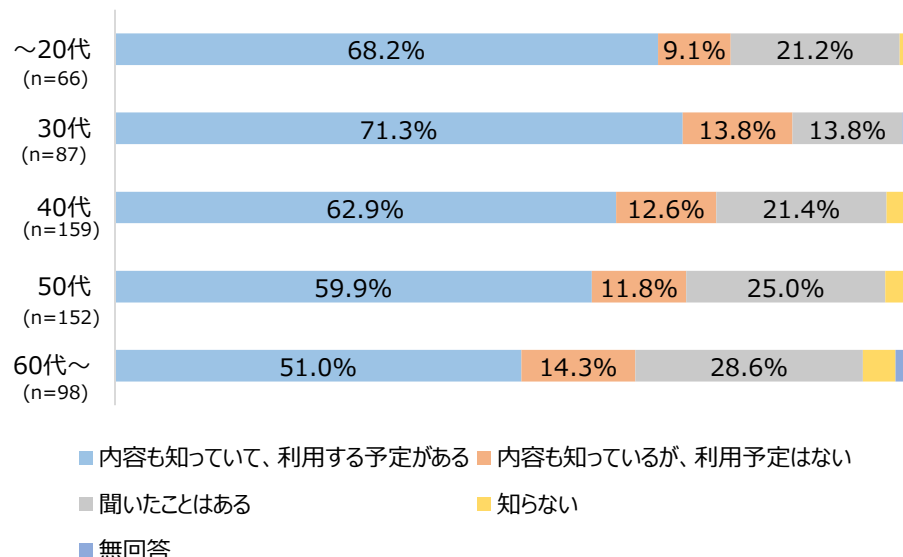
4. 資産運用について

4-8. 2024年から始まる新NISAについて知っていますか？

《全体》



《年代別》



新NISAの利用意向は6割超

【全 体】

質問 4 - 3 で資産運用を「している」(72.4%)と回答した人に、2024年から始まる新NISAについて尋ねたところ、「内容も知っていて、利用する予定がある」(61.9%)が最も多かった。NISAを活用した資産運用が主流となっており、後継の新NISAについても利用意向が強いものと考えられる。

【年代別】

30代で「内容も知っていて、利用する予定がある」(71.3%)の回答割合が最も高く、年齢が上がるにつれて、利用意向は低下していた。新NISAは従前より長期的に資産形成できるように制度改正されており、少額・長期間での運用が多い若年層ほど利用意向が高くなったと考えられる。